

平成 26 年 5 月 15 日

平成 26 年度（春）教育システム改善のためのアンケート集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

藤井委員長

児玉委員

太田委員

1. はじめに

平成 26 年度春のアンケートは、昨年度(平成 25 年度)Ⅱ学期に開講された講義への意見に加えて、本コースの学習・教育目標やカリキュラムに関して総合的に問うています。ここでは平成 26 年 3 月および 4 月に行った春アンケートの集計結果の簡約版を示します。なお、本コース関係者（学生の皆さんを含む）はより詳細な集計結果を閲覧できます。詳しくはコース長または学生委員の先生にお問い合わせ下さい。

2. アンケートの実施要領

学部 2, 3 および 4 年生を対象としたアンケートは、別紙に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施しました。

表 2.1 アンケートの実施要領

対 象	実施日	実施場所	備 考
2 年生	4 月 9 日	3 年生ガイダンスにて	実施日の時点では 3 年生だが、2 年後期のカリキュラムに関して問いかけているので 2 年生と表記
3 年生	4 月 10 日	4 年生ガイダンスにて	実施日の時点では 4 年生だが、3 年後期のカリキュラムに関して問いかけているので 3 年生と表記
4 年生	3 月 25 日	研究室	前年度学位記授与式時に実施

3. 集計結果

3.1 回答者に関して（設問 1）

設問 1 は回答者自身に関する情報を得るために設けたものであり，小設問 (1) では「学年・身分」について，小設問 (2) では「進路希望」について問うています．表 3.1.1 に小設問(1) への回答の集計結果を示します．本年度は，全体で 84% 程度のアンケート回収率でした．

表 3.1.2 に小設問 (2) の「進路希望」への回答を示します．各学年における進学・就職希望の割合は，2 年生の 8 割，3 年生の 9.5 割程度が大学院への進学を希望しているという結果でした．（4 年生に関しては，実際にはほとんど全ての学生が大学院に進学しているため，大学院修了後の希望進路について回答した学生も含まれていると考えられます）．

この結果はほぼ例年通りの傾向となりました．

表 3.1.1 設問 1 (1) への回答集計結果

	2年生	3年生	4年生	合計
総数	42	38	32	112
回答者数	33	37	25	95
回答率	78.6%	97.4%	78.1%	84.8%

表 3.1.2 設問 1 (2) への回答集計結果

2年生	人数
就職	4
大学院進学	26
進学 or 就職	1
無回答	1
未定	1

3年生	人数
就職か大学院進学	1
大学院進学	35
不明	1

4年生	人数
就職	4
大学院進学	21

3.2 学習・教育目標への評価（設問 2）

設問 2 では、「学習・教育目標」に関して、以下の小設問に対する回答を「はい」「いいえ（理由）」の 2 択で問うています。

- (1) 本学科の特徴（とあなたが考えるもの）が十分に反映されていますか？
- (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは**社会の要請**（とあなたが考えるもの）に対してほぼ適合していますか？
- (3) 本学科の**学生の資質（知識レベルなど）**に対して適切に設定されていますか？
- (4) 本学科の**卒業生の進路（学生の方は希望進路）**に照らし合わせて適切に設定されていますか？

また、小設問 (5)では、「学習・教育目標」に関するその他の自由意見を募っています。

表 3.2.1 は、小設問(1)～(4)に対する回答の集計結果です。いずれの小設問に関しても、「はい」と答えた人の数が「いいえ」と答えた人数を大きく上回っており、例年のアンケートと同様に、「学習・教育目標」は概ね肯定的に評価されていることがわかります。

表 3.2.1 設問 2 (1)～(4)への回答

2 年生

2-（1）

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	31	2	英語の授業が少ない

2-（2）

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	32	1	もう少し幅広くてもよいのでは？

2-（3）

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	30	2	軽くふれたことも目標に入っているから
			もう少しレベルが上でもいい

2-（4）

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	33	0	-

3年生

2-(1)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	36	0	-

2-(2)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	35	0	-

2-(3)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	36	0	-

2-(4)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	36	0	-

4年生

2-(1)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	24	1	実学

2-(2)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	24	1	授業数が少ないので資源の長所である幅広さが活かされていないと思う

2-(3)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	25	0	-

2-(4)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	24	1	-

3.3 カリキュラムに対する評価（設問3）

設問3では、カリキュラムに関して以下の9つの小設問を設けて質問しました。なお、いずれの小設問についても複数回答可としており、小設問(2)～(5)に関しては「受講していなくても一般的な見地から可能な限り答えるよう」に指示しました。また(6)～(8)に関しては前年度(平成20年度)Ⅱ学期に受講したもののみの回答するように指示しました。

- (1) 受講したことのある科目に○を付けてください。
- (2) 現在あるいは将来、あなたの専門・仕事に直接役立つと考えられる科目に○を付けてください。
- (3) 専門を問わず、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる科目に○を付けてください。
- (4) 現在のカリキュラムにある科目のうち、必ずしも必要とはいえないが選択肢として受講できるようにしておくことは妥当だと思う科目に○を付けてください。
- (5) 現在のカリキュラムにはないが、必要であろうと考えられる科目や学習内容（「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに、なぜないのか」というようなもの）があれば、記入してください。
- (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。
例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々
- (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。
例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々
- (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。
例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」
- (9) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

表3.3.1に、回答の集計結果を示します。

小設問(2)～(4)に関する集計結果からは、例年と同様に、開講されている科目のおおよそ全てが「専門・仕事で役に立つ」「技術者の素養として必要である」あるいは「選択科目として妥当である」科目として認められていることがわかります。

小設問(5)の「現行のカリキュラムにないがあればよいと思う科目」に対しては、英語に関する講義、生物、プレゼン、実務系の授業などに関する講義への要望でした。

小設問(6)は、「授業の内容・方法がすばらしかった科目」を問うたものでした。前年度Ⅱ学期に受講した科目に対してのみに限定した設問でしたが、それ以前に受講した科目に対する回答も含まれていました。Ⅱ学期に開講された科目で4件以上の得票があった科目は次の9科目「卒業論文：5件」「流体力学演習：8件」「火薬及び爆破学：8件」「技術英語：7件」「数値計算法：4件」「構造力学Ⅰ：9件」「熱力学演習：6件」「資源循環システムⅠ：5件」「応用数学Ⅱ：4件」でした。その理由は「興味のある分野であった」「わかりやすかった」、「先生が一生懸命だった」「熱心な指導」「将来役立つ」などでした。

小設問(7)、(8)では、「内容・方法に問題を感じた科目」「成績評価に問題を感じた科目」をそれぞれ挙げてもらいました。Ⅱ学期に開講された科目で4件以上の指摘があった科目

は3科目でした。このうち「内容・方法」に関する問題としては、「講義の内容が難しかった」といった講義内容に関する意見が多く、その他では「テスト範囲に関する内容」など講義方法に関する意見が多くを占めました。また「評価」に対するコメントとしては、「成績評価手法が初期に明示されなかった」など試験内容と成績評価に対する意見などがありました。

3.4 その他の意見（設問4）

設問4では、小設問(1)で「教育システム改善のための方法」、小設問(2)で「コースに対するその他の意見」を問うています。寄せられた意見で目立ったのは、コース行事を増やしてほしいとの要望、その他の意見としては「ネットでの回答希望」「資源工学が良い。今のは長い」「ロッカーがほしい」「研究室の特色が未だにつかめない」などでした。

表3.3.1 設問3(1)～(4), (6)～(8)に対する回答の集計結果(2年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学 I	2	必修	2・I	講義	33	16	23	1
2 応用数学演習 I	1	必修	2・I	演習	33	13	20	1
3 基礎図形科学	2	選択	2・I	講義	27	5	7	5
4 地球科学	2	必修	2・I	講義	33	19	19	0
5 弾性体の力学	2	必修	2・I	講義	33	14	12	0
6 熱力学	2	必修	2・I	講義	33	23	14	0
7 計測工学	2	必修	2・I	講義	33	20	18	0
8 建設材料	2	選択	2・I	講義	31	5	6	6
9 資源循環デザイン	1	必修	2・I	演習	32	14	11	1
10 生物工学概論	2	選択	2・I	講義	32	3	5	12
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・I	講義	19	0	3	11
12 流体力学	2	必修	3・I	講義	20	14	7	1
13 土の力学 II	2	選択	3・I	講義	18	3	4	4
14 物理化学演習	1	必修	3・I	演習	11	5	5	0
15 建築都市学概論	2	選択	3・I	講義	20	1	4	5
16 資源循環システム実験 II	1	必修	3・I	実験	16	9	5	0
17 粉体工学	2	必修	3・I	講義	19	11	7	0
18 インターンシップ	1	選択	3・I	実習	0	7	5	3
19 岩盤工学	2	必修	3・I	講義	17	11	5	0
20 環境化学	2	必修	3・I	講義	6	6	5	0
21 資源化学 II	2	選択	3・I	講義	19	12	7	2
22 資源循環システム II	1	選択	3・I	演習	3	1	0	1
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義	0	2	1	2
24 気象学	2	選択	4・I	講義	0	1	1	2
25 機械工学概論	2	選択	4・I	講義	0	0	1	1
26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義	0	0	1	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義	0	0	1	1
28 材料工学概論	2	選択	4・I	講義	0	1	0	1
29 構造力学 I	2	必修	2・II	講義	30	17	14	2
30 応用地質学	2	必修	2・II	講義	29	16	9	0
31 熱力学演習	1	必修	2・II	演習	29	17	12	0
32 資源循環システム実験 I	1	必修	2・II	実験	31	15	14	1
33 資源循環システム I	2	必修	2・II	講義	31	14	10	1
34 資源化学 I	2	必修	2・II	講義	30	17	15	0
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・II	講義	27	8	10	7
36 応用数学 II	2	選択	2・II	講義	26	11	14	3
37 物理化学	2	必修	2・II	講義	30	13	14	0
38 土の力学 I	2	選択	2・II	講義	30	6	8	5
39 コンピューティング演習	1	必修	3・II	演習	1	4	4	0
40 流体力学演習	1	必修	3・II	演習	0	4	4	0
41 地設システム工学	2	必修	3・II	講義	0	2	1	0
42 微生物工学	2	選択	3・II	講義	0	0	0	1
43 地下水工学	2	必修	3・II	講義	0	2	1	1
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・II	講義	0	1	2	2
45 資源循環システム実験 III	1	必修	3・II	実験	0	2	1	1
46 技術英語	1	必修	3・II	演習	0	6	6	2
47 環境物理	2	選択	3・II	講義	0	1	2	1
48 数値計算法	2	必修	3・II	講義	1	1	3	1
49 環境工学概論	2	選択	4・II	講義	0	0	1	1
50 生体工学概論	2	選択	4・II	講義	0	0	2	1
51 職業指導	4		4・II		0	1	2	0
52 現代化学概論	2	選択	4・II	講義	0	0	2	1
53 卒業論文	8	必修	4・II		0	2	4	0
54 水環境保全工学	2	選択	4・II	講義	0	0	1	2
55 大気保全工学	2	選択	4・II	講義	0	0	1	2

表3.3.1 設問3(1)－(4), (6)～(8)に対する回答の集計結果(3年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義	35	21	26	5
2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習	35	21	24	3
3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義	29	5	5	11
4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義	36	16	17	3
5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	35	16	13	2
6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	36	18	15	3
7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義	34	17	16	3
8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義	31	13	10	4
9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習	35	15	11	2
10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	35	6	10	5
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	21	4	7	8
12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義	35	17	15	3
13 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	35	15	10	5
14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習	36	17	12	2
15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義	35	7	10	9
16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験	35	18	15	3
17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	36	13	13	4
18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習	30	18	18	4
19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	36	17	10	2
20 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義	36	19	14	2
21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	34	12	12	3
22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習	34	11	10	4
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義	4	2	2	2
24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義	16	5	6	4
25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	11	3	3	2
26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義	7	2	2	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	5	3	2	2
28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	7	5	3	2
29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	35	18	13	4
30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義	35	15	10	2
31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習	35	16	12	2
32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験	36	16	15	3
33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義	36	14	9	3
34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	35	12	15	3
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義	32	8	9	8
36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義	25	12	10	4
37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義	36	17	13	2
38 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義	35	13	11	3
39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	35	9	9	7
40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	35	16	10	2
41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	32	17	9	3
42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	31	7	7	5
43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	35	13	13	2
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	35	14	11	10
45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験	35	15	14	3
46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習	35	25	19	2
47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義	35	14	10	5
48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義	35	17	12	3
49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	1	1	1	2
50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	0	0	1	2
51 職業指導	4		4・Ⅱ		0	1	1	1
52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	0	1	1	2
53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ		0	2	2	1
54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	0	2	2	1
55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	0	1	1	1

表3.3.1 設問3(1)～(4), (6)～(8)に対する回答の集計結果(4年生)

科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演 習・実験の 種別	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学 I	2	必修	2・I	講義	24	8	13	1
2 応用数学演習 I	1	必修	2・I	演習	22	4	10	1
3 基礎図形科学	2	選択	2・I	講義	23	7	8	4
4 地球科学	2	必修	2・I	講義	21	9	10	3
5 弾性体の力学	2	必修	2・I	講義	23	9	10	3
6 熱力学	2	必修	2・I	講義	23	12	14	1
7 計測工学	2	必修	2・I	講義	22	9	12	2
8 建設材料	2	選択	2・I	講義	21	7	7	2
9 資源循環デザイン	1	必修	2・I	演習	9	3	4	3
10 生物工学概論	2	選択	2・I	講義	17	4	6	2
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・I	講義	4	0	1	2
12 流体力学	2	必修	3・I	講義	21	10	10	2
13 土の力学 II	2	選択	3・I	講義	22	8	6	4
14 物理化学演習	1	必修	3・I	演習	23	10	13	2
15 建築都市学概論	2	選択	3・I	講義	22	8	8	2
16 資源循環システム実験 II	1	必修	3・I	実験	13	4	3	2
17 粉体工学	2	必修	3・I	講義	22	11	8	2
18 インターンシップ	1	選択	3・I	実習	14	8	10	2
19 岩盤工学	2	必修	3・I	講義	23	9	8	4
20 環境化学	2	必修	3・I	講義	14	4	4	2
21 資源化学 II	2	選択	3・I	講義	5	1	3	3
22 資源循環システム II	1	選択	3・I	演習	7	2	3	2
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義	5	1	2	2
24 気象学	2	選択	4・I	講義	22	8	10	4
25 機械工学概論	2	選択	4・I	講義	15	4	4	2
26 コンストラクションマネジメン	2	選択	4・I	講義	18	8	7	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義	12	6	7	2
28 材料工学概論	2	選択	4・I	講義	18	7	6	2
29 構造力学 I	2	必修	2・II	講義	22	7	8	2
30 応用地質学	2	必修	2・II	講義	21	10	11	3
31 熱力学演習	1	必修	2・II	演習	20	9	7	2
32 資源循環システム実験 I	1	必修	2・II	実験	12	4	4	1
33 資源循環システム I	2	必修	2・II	講義	12	3	3	3
34 資源化学 I	2	必修	2・II	講義	12	3	4	2
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・II	講義	21	10	8	2
36 応用数学 II	2	選択	2・II	講義	15	6	6	4
37 物理化学	2	必修	2・II	講義	22	12	13	1
38 土の力学 I	2	選択	2・II	講義	20	8	8	3
39 コンピューティング演習	1	必修	3・II	演習	21	6	9	4
40 流体力学演習	1	必修	3・II	演習	21	6	6	2
41 地殻システム工学	2	必修	3・II	講義	21	8	7	3
42 微生物工学	2	選択	3・II	講義	12	4	6	3
43 地下水工学	2	必修	3・II	講義	17	6	6	2
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・II	講義	20	7	8	3
45 資源循環システム実験 III	1	必修	3・II	実験	10	3	3	2
46 技術英語	1	必修	3・II	演習	4	1	1	3
47 環境物理	2	選択	3・II	講義	19	6	8	3
48 数値計算法	2	必修	3・II	講義	21	6	8	5
49 環境工学概論	2	選択	4・II	講義	6	2	3	3
50 生体工学概論	2	選択	4・II	講義	6	1	2	2
51 職業指導	4		4・II		—	—	1	2
52 現代化学概論	2	選択	4・II	講義	3	2	2	3
53 卒業論文	8	必修	4・II		21	11	10	2
54 水環境保全工学	2	選択	4・II	講義	2	—	1	3
55 大気保全工学	2	選択	4・II	講義	3	—	1	3

資源循環システムコース学生の皆様

資源循環システムコース コース長
川崎 了

教育システム改善のためのアンケート(平成26年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

- A：学部2年 B：学部3年 C：学部4年 D：大学院生
E：社会人（技術系） F：社会人（非技術系） G：その他

(2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？

あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

2. 学習・教育目標について

次の「学習・教育目標」について、下記(1)～(5)の質問にお答えください。

回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を○で囲んでください。

「いいえ」を選んだ方は、その理由を(理由: _____)欄に記入してください。

注: 抽象的な質問ばかりですが、考え込まず、感じるままに! Take it easy!

資源循環システムコースの学習・教育目標

- (A) 科学技術と社会・文化との関わりを知り、社会における技術者の責任・使命を認識する能力と素養を身に付ける。
- (B) 人間と自然との関わりを認識し、環境と調和した技術を考える能力と素養を身に付ける。
- (C) 専門分野を理解するために自然科学、数学、情報科学などに関する基礎的能力を身に付ける。
- (D) 技術の多様な展開に対応できる基本的な理解力と、他の分野にも視野を広げることができる素養を身に付ける。
- (E) 地圏の開発・防災、資源の開発・生産、資源循環・環境に関する総合的専門知識を身に付ける。
- (F) 問題の本質を理解した上で、他者と協働して自ら情報を収集・分析し、状況に応じた具体的な解決法と行動計画を策定する能力と素養を身に付ける。
- (G) 科学技術に対する知的好奇心を育み、主体的な学習意欲、継続的な研鑽の力と技術に対するフロンティア精神を身に付ける。
- (H) 自分の考えや仕事の内容・成果を論理的に表現できる文章記述能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- (I) 国際的に通用するコミュニケーション能力と国際的な多様な価値観を理解できる素養を身に付ける。

- (1) 本コースの特徴(とあなたが考えるもの)が十分に反映されていますか?
- (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは社会の要請(とあなたが考えるもの)に対してほぼ適合していますか?
- (3) 本コースの学生の資質(知識レベルなど)に対して適切に設定されていますか?
- (4) 本コースの卒業生の進路(学生の方は希望進路)に照らし合わせて適切に設定されていますか?
- (5) その他、「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

<回答欄>

(1) はい いいえ (理由: _____)

(2) はい いいえ (理由: _____)

(3) はい いいえ (理由: _____)

(4) はい いいえ (理由: _____)

(5) _____

3. カリキュラムについて

下記(1)～(4)の質問に対する回答は、下のカリキュラム表に直接記入してください。
受講されていない科目もあるかと思いますが、(2)～(4)の質問に関しては一般的な見地から可能な限りお答えください。

- (1) 受講したことのある科目に ○ を付けてください。
- (2) 現在あるいは将来、あなたの専門・仕事に直接役立つと考えられる科目に ○ を付けてください。
- (3) 専門を問わず、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる科目に ○ を付けてください。
- (4) 現在のカリキュラムにある科目のうち、必ずしも必要とはいえないが選択肢として受講できるようにしておくことは妥当だと思える科目に ○ を付けてください。

学年	科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別	回答欄			
						(1)	(2)	(3)	(4)
2年	1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習				
2年	3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習				
2年	10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義				
3年	12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	13 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習				
3年	15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験				
3年	17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習				
3年	19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	20 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習				
4年	23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
2年	29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習				
2年	32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験				
2年	33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義				
2年	36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義				
2年	37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	38 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義				
3年	39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義				
3年	42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義				
3年	44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験				
3年	46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義				
4年	49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	51 職業指導	4		4・Ⅱ					
4年	52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ					
4年	54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義				

- (5) 現在のカリキュラムにはないが、必要であろうと考えられる科目や学習内容（「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに、なぜないのか」というようなもの）があれば記入してください。一般的な見地から可能な限りお答えください。
-

下記(6)～(9)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、(6)～(8)の質問に関しては、次ページの表にある昨年度後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、次ページのカリキュラム表内に記載されている番号です。

- (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的に」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (9) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。
-

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 コンピューティング演習	1	必修	3・II	演習
2 流体力学演習	1	必修	3・II	演習
3 地殻システム工学	2	必修	3・II	講義
4 微生物工学	2	選択	3・II	講義
5 地下水工学	2	必修	3・II	講義
6 火薬及び爆破工学	2	選択	3・II	講義
7 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・II	実験
8 技術英語	1	必修	3・II	演習
9 環境物理	2	選択	3・II	講義
10 数値計算法	2	必修	3・II	講義

4. 最後の質問です。

(1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

(2) その他、コース全般に対するご意見等（例えば、「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。